

<h1>掘師会 2026 年新春会報</h1> <p>(日本における地下掘削の技術向上並びに継承するために設立された会)</p>	<p>一般社団法人掘師会</p> <p>東京都練馬区大泉学園町</p> <p>理事長 内山 剛</p>
--	---

1. 理事長挨拶



2020年コロナ禍、志を持った皆様と一般社団法人掘師会を立ち上げることができました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

2025年は温泉掘削講習を開催し、学びの領域を広げることができました。皆様のご協力に重ねて御礼申し上げます。今後も技術のスキルアップを図っていきます。引き続き皆様の御協力をお願い申し上げます。

内山 剛

2. 掘師会情報交換会

開催日	2026年1月	場所	オンライン	参加者	会員
内容	<p>●技術動向</p> <p>●モノの価格上昇</p> <p><例：トラック></p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的な部品需要量が増え、トラック新車価格が上昇、発注してスグ納車もできず。 同様に中古車価格も上昇傾向にあり、トラックを入手しにくくなっている。 <p><例：メタルクラウン></p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的にレアアース需要量が増え、レアアースの価格が高騰している。 メタルクラウンの超硬合金は、レアアース（いわゆる希少金属）を用いている。 結果、メタルクラウンの価格も上昇傾向にある。 <p>●調達戦略</p> <ul style="list-style-type: none"> モノの価格上昇を受け、収益確保のため調査価格値上げは避けられない状況。 一方で調査価格の値上げにも限界があり、設備や消耗品の調達戦略が重要。 				

3. ボーリングスキルアップ講習会・視察等の実施状況

期日 (2026年)	勉強会の内容
2月7日 (土)	<p>内容：初歩的なボーリング技術研修 (座学・実技)</p> <p>講師：ウチヤマ地質工業・ウチヤマ社長</p> <p>参加：エンジニア 20名</p> <p style="padding-left: 20px;">スリランカ、ネパール、バングラディッシュ、ベトナム、日本。</p> <p style="padding-left: 20px;">(あいうえお順)</p> <p>場所：ウチヤマ地質工業新座フィールド</p>

4. 今後の予定

現在、日程調整中。

5. トピックス

地下水の保全の見直しがスタート

2026年3月3日国土交通省のプレスリリース「第1回地下水の適正な保全と利用に関する検討会を開催します」が発行されました。

1. 検討会設置の背景

(1) 地下水利用ニーズ

次のような観点から地下水利用ニーズがあり、地下水の利活用の重要性が増大しています。

<例：地下水利用ニーズ>

- ①気候変動による渇水リスク増大に対する代替水源
- ②災害時の代替水源
- ③半導体工場等による新たな水需要増加への水源

(2) 水源地の保全

外国人の森林取得増加等により、水源地の保全に対する関心が高まっています。

(3) 地下水の採取規制

地下水の採取を全国一律で規制する法律がありません。

また、地下水採取に関する条例がある自治体、条例がない自治体とあります。

3. 検討会の目的

「地下水の適正な保全と利用に関する検討会」は、地下水採取の実態把握、地下水の適正な保全と利用に関する検討が行う予定です。

4. 地質調査ニーズ

この検討会の背景や目的から、非常時用の井戸、産業用井戸のためのさく井ニーズが読み取れます。前提として、自治体に水資源実態把握のための観測井ニーズが高まることも想定されます。検討が進み、地下水利活用を加速される結果となった場合、地下水マネジメント（利用と保全のバランス管理）の観点から、水源地保全のための水質調査や地質調査、周辺を含めた地盤沈下リスク評価のための地質調査等、ボーリング調査ニーズが増す可能性があります。

参考文献：国土交通省報道発表資料「第1回地下水の適正な保全と利用に関する検討会を開催します」
地下水マネジメント推進プラットフォームホームページ。

2026年3月4日 小島康（中小企業診断士）

編集：掘師会事務局（合同会社ココジマ）